

令和4年度鹿児島市教育研究会「小・中連携研修会」研修のまとめ

1 ねらい

鹿児島市では、次のような目的で中学校区ごとにグループを組み、毎年研修を行っています。

小学校と中学校が連携を深め、9年間の学びの連続性を追究することを通して、小・中学校の円滑な接続及び、確かな学力の育成や生徒指導等の充実等を図ることを目的とする。

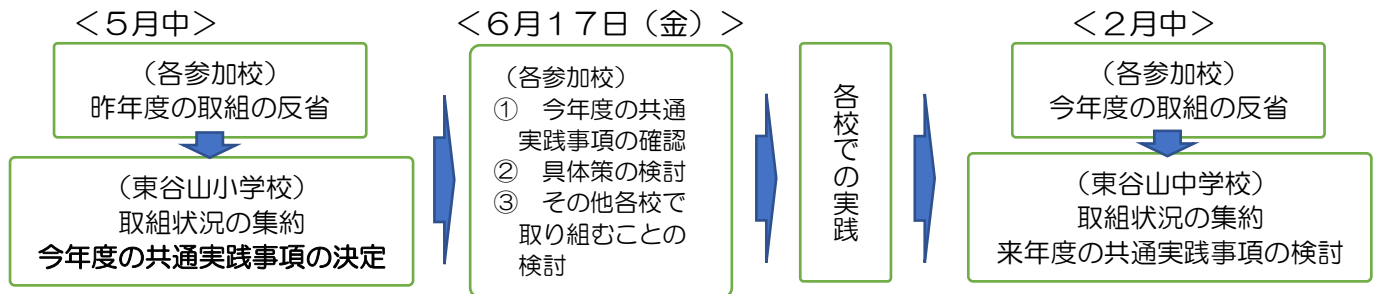
今年度、東谷山中学校グループ（東谷山中・清和小・東谷山小）の研修は、本校が担当校でした。その研修の様子についてお知らせします。

2 研究主題

小学校から中学校への円滑な接続を図るにはどうすればよいか

3 研修の進め方

今年度も、感染防止対策のために、会場校に集まって授業参観をしたり、意見交換をしたりなどの研修は、難しいと考え、各校での課題をもとに共通実践事項を設定し、各校での実践を行う形で研修を進めることとしました。



4 今年度の共通実践事項と取組反省

今年度、東谷山中学校グループでは、次の4つの共通実践事項を設定して各校で取り組みました。

- 【共通実践事項1】 2分前着席、1分間黙想などの学習規律の徹底・ICT機器の効果的な活用・諸学力調査の結果分析の共有
- 【共通実践事項2】 情報機器の使用時間の制限・家庭との連携
- 【共通実践事項3】 特別支援教育における小中学校間の連携
- 【共通実践事項4】 小中学校間の指導内容の情報共有、共通実践

この中で、共通実践事項1の中にある「ICT機器の効果的な活用」の取組について少し詳しく紹介します。

三校の共通テーマ

※2分前着席、1分間黙想などの学習規律の徹底・ICT機器の効果的な活用・諸学力調査の結果分析の共有

東谷山中

【具体的な取組】
・ナビマ、ロイロノートの活用

ナビマ、ロイロノートを利用して登校できなかった生徒への学習支援を行った。ICT機器の効果的な活用法の研究と実践を推進していきたい。

ロイロノートを活用する学級が増え、子供たちの活用力が向上してきた。その他の機器も日常的に活用することができた。今後も積極的に利用していく。

清和小

【具体的な取組】
ロイロノートの積極的活用と指導法の研究

東谷山小

【具体的な取組】
ICT機器活用（ロイロノート・プログラミング）

授業でのICT機器の活用により、子供たち同士の意見交換や考えの共有ができた。また、教師は評価に活用できた。

各校でICT機器を積極的に活用していくことで、子どもたちや教師の活用力がついてきた。今後もICT機器の効果的な活用を研究・実践し、三校で連携を取りながら今後も進めていきたい。